

松田小学校校舎建設計画（素案）

皆さまのご意見・ご提案をお寄せください

松田小学校の校舎建設については、本年3月の「広報まつだ」でお知らせしたとおり、昨年11月、町の総合教育会議で「町立学校の将来を見据えた教育方針」等について協議いたしました。その結果、将来的な子どもの状況や教育上の課題を考慮し、国の制度改正を踏まえて、しっかりとした議論を行った上で学校建設を推進するべきとの一定の結論に至りました。

そこで、町議会に報告を行った上で、学識経験者や教職員、保護者の代表、公募による委員12人からなる「松田町の学校制度等のあり方に関する検討委員会」を設けて、9回にわたって将来の学校教育のあり方などについて調査・検討を行いました。

その結果、11月広報まつだでお知らせしたとおり、「子どもに身につけた力」や「めざす子ども像」、「保・幼・小中一貫教育の推進」、「ふるさとに誇りのもてる子の育成」、「情報化や国際化に対応できる資質や能力の育成」など、松田町がめざす教育についての一定の方向性が示されました。こうした方向性を踏まえ、今後、松田小学校の校舎建設に取り組んで参ります。

このたび、「松田小学校校舎建設計画」の素案を作成するに際し、広報まつだ11月号でお知らせしたとおり、皆さまに「パブリックコメント（意見募集）」を実施します。

皆さまからお寄せいただいたご意見やご提案は、松田小学校校舎建設計画作成の参考とさせていただきます。

1 校舎建設計画の目的

本町では、平成28年度に松田町立学校校舎建設基本計画（平成29年3月）を策定しました。当該計画において、昭和48年に建設された松田小学校の老朽化が著しく、経年劣化による不具合により建て替えが避けられない状況であることを踏まえ、現行敷地内に新たな校舎の建設を行うことを決定しました。

この基本計画を下地にしつつ、平成29年に実施した校舎耐力度診断の結果及び近年の建築資材や人件費等の高騰、また将来的に本町が目ざす教育等、学校校舎建設を取り巻く状況の変化を踏まえ、校舎建設事業を実施することとなりました。

そこで、民間の所有するノウハウや技術力により、コスト削減及び工期短縮等を図るために設計・施工一括発注方式を実施します。この方式により、民間のもつ柔軟な発想力や技術力、豊かな経験等を有する企業の参加を求め、本町の要望等に最も適した提案を採用し、望ましい教育環境の整備や教育及び学校運営の充実等を図ることを目指します。

2 対象建物の概要

(1) 現況施設の概要

名称	構造・階数	建築年月
校舎棟	RC造4階	S48年3月
屋内運動場	RC造・S造	S48年3月
グラウンド	—	—

※ RC造：鉄筋コンクリート造、S造：鉄骨造

(2) 整備対象施設の概要

名称	構造・階数	施設概要
新校舎棟	木造主体 4階以下	普通教室、特別教室 管理諸室等
屋内運動場	RC造・S造	
グラウンド	—	
外構	—	外灯、フェンス等

(3) 敷地条件

- ア 所在地 神奈川県足柄上郡松田町松田庶子 204 番地（現在の校舎の敷地）
- イ 敷地面積 11,040 m²
- ウ 地域地区
用途地域 : 第一種住居地域
建ぺい率 / 容積率 : 60% / 200%
防火地域 : 指定なし
- エ 道路状況
東側 : 町道3号線 平均幅員 4.0m
 : 町道1-7号線 平均幅員 3.0m
北側 : 町道1-6号線 平均幅員 4.0m
南側 : 町道2号線 平均幅員 4.0m
- オ 周辺状況
東側及び北側 : 町道を挟んで宅地
西側 : 寒田神社に隣接
南側 : 宅地及び町道に隣接

カ その他	
上水道	: 町営水道
下水道	: 公共下水道
ガス	: LPガス
電気	: 電力会社

(4) 耐力度診断状況

平成 29 年 10 月に「松田小学校校舎耐力度診断（文部科学省「学校建物の耐力度調査実施要領」により実施）」に基づき、耐力度診断を実施した結果、松田小学校は基準以下と判断されました。

3 業務の概要

本事業は、次の業務を一括して発注します。
事業者は、本書に従い、以下の業務を行います。

(1) 設計業務

- ア 基本設計業務
- イ 校舎棟及び屋内運動場建築工事実施設計業務
- ウ 外構工事等実施設計業務
- エ 建築確認申請等各種手続き

(2) 施工業務

- ア 校舎棟及び屋内運動場建築工事（電気設備工事及び機械設備工事を含む）
- イ 外構工事等（電気設備工事及び機械設備工事を含む）
- ウ グラウンド改修工事
- エ 旧校舎及び屋内運動場解体工事

(3) 工事監理業務

- ア 上記「(2) 施工業務」の工事に対する工事監理業務
- イ 出来高監理業務

4 工期（予定）

契約締結：平成 31 年 6 月中旬

事業工期：契約締結の翌日から平成 35 年 3 月 31 日まで

設計期間：契約締結の翌日から平成 32 年 3 月 31 日まで

施工期間：平成 32 年 4 月 1 日から平成 34 年 12 月 31 日まで

工事監理期間：平成 32 年 4 月 1 日から平成 34 年 12 月 31 日まで

新校舎の完成は、平成 34 年 12 月末の予定です。

新校舎の施設概要

名 称	構造	施 設 概 要
校 舎	木造 及び RC 造	普通教室 特別支援学級
	RC 造	特別教室 理科室、理科準備室 音楽室、楽器室、音楽準備室 図工室、図工準備室 被服室、被服準備室 生活科室 調理室、調理準備室 教材室、資料室 図書室 コンピュータ室、コンピュータ準備室 多目的室 管理諸室 校長室、職員室、会議室 保健室、相談室、放送室等 給食施設 給食調理室、給食調理員休憩室、配膳室 共用部 昇降口、トイレ、中庭、廊下、エレベーター その他 学童保育室、放課後子ども教室
屋内運動場	RC 造 S 造	体育館 アリーナ ステージ 器具庫 ギャラリー トイレ
外構工事	—	グラウンド整備、駐車場、駐輪場、外灯、フェンス等
解体工事	—	既存校舎等解体

松田小学校の校舎建設のコンセプト（案）例

～いのちを育み周りの環境や景観に配慮した

地域のシンボルとなる魅力ある校舎～

- 1) 木の香りや温もりにあふれる子どもにやさしい校舎
 - ・普通教室を中心に国内産の木を活用して落ち着いた雰囲気のある教室に
 - ・町の木を子どもの目に触れる場所に活用する
 - ・強度や耐火を考慮して、RC 構造も効果的に生かす
- 2) 子どもの安全・安心の確保
 - ・グラウンドが見渡せる位置に校長室・職員室を設置
 - ・防犯設備の備え
 - ・警備員の確保
- 3) 地域に開かれ、地域の方々の学びの場としての学校
 - ・地域の方や保護者等が気軽に使用できる部屋を備える
 - ・学童保育室、放課後子ども教室を備える（必要な時には、地域の方々も活用できる施設に）
- 4) 災害に強い避難所としての機能を兼ね備えた校舎
 - ・災害備蓄倉庫、避難所の設備、太陽光発電システムの備え
 - ・トイレ、手洗い場、空調設備等の備え
- 5) 障がいのある方や高齢者等にも配慮した施設
 - ・各階や体育館に多機能トイレの設置
 - ・バリアフリー化（スロープ等）、エレベーター設備等
- 6) 利用者にとって使い勝手のよい校舎
 - ・学校からの要望等、利用者の立場を考慮した施設・設備
 - ・室内の広さ・明るさ、風通し、廊下の広さ、空調設備等
 - ・学年集会等の集まりのための多目的ルーム（階段部屋など）の設置
 - ・教育相談、更衣室、倉庫、安全上の設備、教室の配置等を考慮
- 7) 情報化に備え、情報機器や機能を備えた学校
 - ・コンピュータ室、各教室の Wi-Fi 環境の整備、各教室の情報機器の設備
- 8) 多様な学習形態や国際化に対応して英語力を高める学校
 - ・イングリッシュルーム（英語に特化した環境、ALT を中心に日本語は使えない部屋、英会話教室の開催等）の設置
- 9) 子どもの給食を賄う設備を備えた給食調理場の完備
 - ・安全で快適な調理場の確保、設備の充実

上記のコンセプト案を例に、素案について皆さまからのご意見・ご提案をお寄せください。